

次期地域協議会委員への引継ぎ事項（案）について

1 引継ぎ事項とは

- ・委員の改選にあたり、現委員による自主的審議を経て市長へ意見書を提出した案件の経過及び地域課題として委員から提案のあった案件について、継続審議の検討を次期委員へ申し送るもの。
- ・引継ぎ事項の取扱いについては、次期委員が協議し継続審議を判断するため強制力はない。

2 次期浦川原区地域協議会に引継ぐ事項

現委員が任期中に審議した事項や勉強会での経過を踏まえ、次期委員への継続協議・検討項目は次のとおり。

①ほくほく線電車内へのトイレ設置について（経過確認）

- ・平成 29 年 8 月 16 日付で「ほくほく線電車内へのトイレ設置」について、市に意見書を提出し、同年 9 月 13 日付で構造上の理由により設置できないと回答を受けた。
- ・また、平成 30 年 11 月 28 日に開催した委員研修会において北越急行(株)社長から「ほくほく線」の現状についての講演において、新規車両の導入に併せトイレ設置を検討すると発言があった。
- ・以上のことから、浦川原区における交通機関の利便性と安全性の向上について、継続して経過観察をお願いしたい。

②浦川原区山印内地内交差点への信号機設置について（経過確認）

- ・平成 29 年 8 月 16 日付で「浦川原区山印内地内の国道 253 号と市道山印内線の交差点への信号機設置」について、市に意見書を提出し、同年 9 月 13 日付で新潟県公安委員会に対し、現地調査の実施及び信号機の必要性について働きかけると回答を受けた。
- ・同交差点で交通事故が頻発しなければ信号機の設置が難しいことから、継続して経過観察をお願いしたい。

③旧末広小学校及び旧中保倉小学校の利活用について

- ・平成 28 年度末に閉校となった「旧末広小学校原小学校」と「旧中保倉小学校」については、令和元年度地域協議会勉強会において利活用について検討しているが、市教育委員会から具体的な方針が示されていないことから、今後も継続して検討していただきたい。

④霧ヶ岳温泉ゆあみの利活用について

- ・平成 29 年 4 月 1 日から休止となっている「霧ヶ岳温泉ゆあみ」については、第 3 期地域協議会委員が区内地域代表者等を含めた検討会を設け、民間事業者等への譲渡を精力的に探すことや現建物を活用して事業展開できる事業者を探すことを市に対して意見書を提出し、市からも民間利用を含めた今後の利活用について検討すると回答があった。
- ・その後、市では民間事業者からの事業提案を受ける「サウンディング型市場調査」を 2 回実施したが提案には至らなかった。
- ・令和元年度地域協議会勉強会において、地域協議会委員 4 名で検討委員会を立ち上げ、近隣事業者との連携を模索していることから、今後も継続して検討していただきたい。

⑤浦川原中学校との意見交換会について

- ・平成 26 年度（第 3 期地域協議会）から継続して実施している「浦川原中学校との意見交換会」は、次世代を担う中学生に、地域に対する愛着や地域を大切に思う心を育み、中学生自らが地域づくりにできる事は何かを考えてもらう「きっかけ作り」を支援するものです。
- ・中学生が自分たちの住む地域の風土、歴史、文化を再発見する機会として、地域協議会が支援することは大変意義深いものであり、地域協議会委員としても地域課題の発掘につながると思われることから、今後も継続して実施していただきたい。